# 地方独立行政法人静岡市立静岡病院 第1期中期目標期間業務実績(見込)に関する 評価書

平成30年8月 静岡市

# 目 次

第1項	全体評価		
(1)	評価結果・・・・		1
(2)	評価理由・・・・		1
第2項	項目別評価		
(I) /	小項目評価		
第1	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する	5目標を達	
	成するためとるべき措置		
1	地域医療を支える要としての静岡病院		3
2	医療の質の向上と人材の確保		1 5
3	医療の安全性と信頼性の向上		2 3
4	利用しやすく快適な病院づくり		2 8
5	市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流		3 1
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき	*措置	
1	働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり		3 5
2	業務運営体制の構築		3 9
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置		
1	健全経営の維持		4 6
第4	その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとる	5べき措置	
1	地球環境に配慮した病院経営		5 2
《資料》	>		
▶ 地方	独立行政法人静岡市立静岡病院の業務実績評価に係る基本方針		5 5
▶ 地方	独立行政法人静岡市立静岡病院の中期目標期間見込評価に係る実		5 8
施要	道		

#### 第1項 全体評価

#### (1) 評価結果

「中期計画の達成に向けて順調に進捗しており、中期目標の期間の終了時において、全体として中期目標の達成が見込まれる。」と評価する。

#### (2) 評価理由

中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績評価に関し、中期計画の達成状況の調査及び分析を行い、これらの結果を考慮して業務の実績の全体について、評価委員会から意見聴取を行ったうえで総合的な評価を行った。

平成28年度は、独法移行初年度であったものの、医療の質の向上と人材確保に向けた取組等について年度計画を上回って実施するなど、すべての大項目が評価Aとなり、一定の成果があったものと評価した。

また、特筆すべき点として、多くの自治体病院が赤字経営である中、決算で黒字を実現するなど、安定的な経営の維持に向けた取組は高く評価できるものであった。

29 年度においては、中期計画の実現のためにはやや遅れているとの評価となった項目が一部であったものの、高度医療や関係機関との連携に関する取組などは計画を上回って実施しており、全体として、地方独立行政法人としてのメリットを十分に生かし、また、諸課題の克服に向けて積極的に取り組まれたことは高く評価できるものであった。

こうした評価結果を考慮し、中期目標の期間の終了時に見込まれる業務の実績としては、総じて中期計画どおりに進捗していること、また、静岡病院の特徴であるハートセンター等において実施する高度医療、病院が一体となった臨床研修医の育成、医療・保健・福祉・介護関係機関との積極的な連携の取組は、計画を上回った実施となる見込みであることから、総合的な評価として、上記のとおり「中期計画の達成に向けて順調に進捗しており、中期目標の期間の終了時において、全体として中期目標の達成が見込まれる。」と評価したものである。

静岡病院が、市民病院として、市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供するという公的使命を果たすべく、今後も一層、各種施策に意欲的に取り組まれることを期待するものである。

第2項 項目別評価

( I ) 小項目評価

- 1 地域医療を支える要としての静岡病院
- (1) 広大な市域を支える要としての活動

年度評価			中期目標	期間評価
H28 H29		H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標

中山間地を含む広大な市域を有する本市において、市民が安心して日々の生活を送るため、都市部や中山間地の住民が等しく医療についての理解を深める活動を行うこと。

また、将来を担う若者を対象に、医療及び医療職に対する理解を深める活動を行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
本市の都市部及び中山間地域におい	・市民が自らの「からだ」や病気の仕組みを理解する場	3	3	法人の実績見込に対
て、「静岡市民『からだ』の学校」を開	として「静岡市民『からだ』の学校」を開催			し、評価「3」が適当で
催し、市民へ医療情報を発信します。	H28 及び H29 の実績			ある。
また、教育関係機関と連携しながら	都市部(グランシップ開催)2回			
生徒に対しても情報提供を行い、医療	山間部(各生涯学習交流館)3回			
及び医療職についての理解を促進しま	・学生向けの医療体験セミナーを開催			
す。	中学生対象(ブラックジャックセミナー、ナース体験)			
上記について専門的に対応する部署	高校生対象(こころざし育成セミナー、ナース体験)			
として「医療がつなぐ『ひと』と『地	・当院の医師が市内の中学校に出向き直接授業を行う、			

或』の交流センター」を設置します	文部科学省	・ 推進モデル事業	「がん教育」を教	教育委員会と			
の連携により実施。							
	以上の取	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に					
	おいても計	画を着実に実施	する見込みであ	り、中期計画			
	の達成に向	のけて計画どおり	に実施している	るものと考え			
	られる。						
【関連指標】				_			
【関連指標】 項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績				
	H28 実績 都市部2回	H29 実績 都市部 2 回	H30 実績				
項目			H30 実績				
項目 静岡市民「からだ」の学校	都市部2回	都市部2回	H30 実績	_			
項目 静岡市民「からだ」の学校 開催	都市部2回 山間部3回	都市部2回 山間部3回	H30 実績				
項目 静岡市民「からだ」の学校 開催 中高生の病院体験セミナ	都市部2回 山間部3回 高校生1回	都市部2回 山間部3回 高校生1回	H30 実績				

#### 1 地域医療を支える要としての静岡病院

#### (2) 救急医療

	年度評価	中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標

地域の救急医療を担う中核的な病院として、本市の救急医療体制のもと、他の医療機関と連携しながら、引き続き365日24時間の「ことわらない救急」を実践し、市民が安心できる救急医療を提供すること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
一	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
他の医療機関と連携しながら 365	・救急科 (H28年4月新設) を中心に、「ことわらない	3	3	法人の実績見込に対
日 24 時間の「ことわらない救急」を	救急」をモットーとして、365日24時間体制で質の			し、評価「3」が適当で
継続します。	高い救急医療を提供。			ある。
また、高度な救急医療の提供のため	• 市内公的病院輪番制 2次救急医療(当番日)の実績			
に、新たに「救急科」を設置します。	H28(内科 83 日、外科 85 日、小児科 47 日)			
	H29(内科 81 日、外科 88 日、小児科 43 日)			
	・救急搬送患者数の受け入れ実績 (H28 年度、H29 年			
	度)は、市内公的病院の中で当院が最も多い。			
	・受け入れ率の向上に努め、不応需事例などについて救			
	急業務委員会(医師、看護師、事務など多職種で構成)			

		を開催し検	意。			
		・ 他病院に	比べ当院の「救急	急医療係数」は高	別数値を維	
		持しており	、救急で重症な思	は者をより多く受	びけ入れてい	
		る。				
		• 救急救命	士の実習受入施設	役として指導を行	ラい、地域の	
		救急医療を	担う人材の育成	に貢献。		
		以上の取	り組み及び成果	などにより、平成	30年度に	
		おいても計	画を着実に実施	する見込みであり	り、中期計画	
			りけて計画どおり			
		られる。		_		
【成						
	項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	
	救急搬送患者数の市内公					
	的病院全体の中で当院が	21.3%	21.1%	23.0%以上		
	占める割合					
【関	連指標】					
	項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績		
-	救急患者数	13,523 人	13,353人			
	救急車搬送数	5,894 人	6,161人			
L						

1 地域医療を支える要としての静岡病院

# (3)高度医療

年度評価			中期目標	期間評価
H28 H29 H3		H30	見込評価	期間実績評価
4	4		4	

	本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要があるが、特に次の点について重点的に取り組む
	こと。
	①心疾患
中期目標	「心臓なら静病」という市民の期待にしっかり応えるため、「ハートセンター」において、地域
中期日標	の心疾患治療を牽引する専門性の高い先進的な治療を行うこと。
	②がん
	地域がん診療連携拠点病院として、日進月歩の様々な治療方法に的確に対応した先進的で質の高
	いがん治療を行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価		
中期间	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等		
本市の基幹病院として、高度医療を	・ハートセンター(循環器内科、心臓血管外科)による	4	4	心疾患においては、		
提供する必要がありますが、特に次の	最先端の心疾患、血管疾患の治療(TAVI、ステント			H28、H29 実績として、		
点について重点的に取り組みます。①	グラフト、カテーテルアブレーション)を実施。			TAVI 等の高度で先進的		
心疾患	・高度医療機器(アンギオグラフィーなど)の更新や増			な治療を実施し、また、		
「ハートセンター」において、循環	設(症例数増加への対応)など、円滑な導入に必要な検			がんについては、最新の		

器内科と心臓血管外科が連携して、従┃討会議(スケジュール・工法など)を実施。 治療を行うとともに、CTや血管造影「チ)による質の高いがん治療の提供。 術(TAVI)などによる先進的な医 | に向けて取り組みを継続 療を行います。

#### ②がん

よる前立腺がん手術以外への新たな展 | がん検診の充実(H29年4月~) 開や「リニアック」による放射線治療 を継続して実施します。

り画像診断の充実を図るなど、がん診し実施しているものと考えられる。 療体制を強化していきます。

- 来から高い実績を持つ心臓血管手術や | •疾患別ネットワークによる病診連携、病病連携の推進。
- カテーテル治療などの幅広い専門的な | ・ 最新の放射線治療装置、手術支援ロボット (ダヴィン
- を行いながら手術ができるハイブリット・PET/CTの導入及び安定的な稼動(H29年4月~)
- ド手術室や経力テーテル大動脈弁置換 ・H3O 年度中に PET/CT の利用拡大(検診対象者)
  - 緩和ケア内科を新設するなど患者に寄り添った治療の 提供
  - 手術支援ロボット「ダヴィンチ」に →・子宮頸がん検診、HPV 検査など、予防医学としての

以上の取り組み及び成果や、平成30年度実施予定の また、新たにPET-CTの導入によ 事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って

放射線治療や手術支援口 ボットによる質の高い医 療を提供し、いずれも本 市の基幹病院としての役 割を十分に果たしてい る。これらについては、 H30 も継続して実施予 定であり、中期計画の達 成が見込まれる。

さらに、高度医療に含 むかという議論はあるも のの、新規に緩和ケア内 科の設置や子宮がん検診 充実に係る取組を実施し たことを評価し、評価 「4」が適当である。

	項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
1//	<b>臓血管外科</b>			
	手術総数	870件	850件	
	開心術	375件	367件	
循	環器内科			
	心臓カテーテル検査	2,596 件	2,540件	
	冠動脈インターベンション	477 件	469件	
	TAVI	22 件	37件	

H28 実績	H29 実績	H30 実績
52件	63 件	
994件	947件	
254 件	264 件	
2,444 件	2,298件	
	52件 994件 254件	52件 63件 994件 947件 254件 264件

- 1 地域医療を支える要としての静岡病院
- (4)政策医療

年度評価			中期目標	期間評価	
H28 H29 H30			見込評価期間実績評価		
3	3		3		

公的病院として、市民ニーズに応じて採算性にかかわらず必要な医療を提供していかなければなら
ないが、特に次の点について重点的に取り組むこと。
①感染症及び精神疾患患者身体合併症
本県で唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割を果たすとともに、精神疾患患者の身体合
併症に対応する医療を提供すること。
②周産期及び小児
本市で子どもを安心して産み育てることができるよう、専門的な周産期医療や小児医療を提供す
ること。
③生活習慣病
超高齢社会の到来に伴い、患者数の増加が予想される糖尿病等の生活習慣病などに対して専門的
な医療を提供すること。

ch #in=Train	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
公的病院として、市民が日々安心し	・第一種感染症指定医療機関として受け入れ体制の維持	3	3	法人の実績見込に対
て暮らすために必要な医療を提供して	に努め、設備の保守点検、備品類の補充、防護服の着脱			し、評価「3」が適当で
いかなければなりませんが、特に次の	訓練及び関係機関との連携による訓練などを実施。			ある。
点について重点的に取り組みます。	・精神疾患患者に対し救急対応を含め身体面、精神面を			
	併せた迅速かつ適切な医療を提供。			
①感染症及び精神疾患患者身体合併症	・分娩件数は年間約 300 件、母体合併症などのハイリ			
本県で唯一の第一種感染症指定医療	スク症例への対応など、地域の周産期医療体制の維持に			
機関であり、また、本市において重要	貢献。			
な役割を担う第二種感染症指定医療機	・糖尿病や高血圧症などの生活習慣病について、治療だ			
関であるため、その役割を果たせるよ	けでなく管理栄養士による食事指導や地域市民への公			
うエボラ出血熱などの感染症患者にも	開講座など、予防啓発活動を実施。			
対応できる医療体制を確保し、迅速な				
患者の受け入れに備えるとともに、精	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
神疾患患者の身体合併症治療を行いま	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
<b>ਰ</b> .	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
②周産期及び小児	られる。			
本市で子どもを安心して産み育てる				
ことができるよう、専門的な周産期医				
療や小児医療を提供します。				
③生活習慣病				
糖尿病、動脈硬化、高血圧症などの				
生活習慣病について、幅広く専門的な				
医療を提供するとともに、講習会など				
の予防に係る啓発活動も行います。				

#### 【関連指標】

	項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
月	<b>い</b> 児科患者数			
	入院	2,374 件	2,451 件	
	外来	4,603 件	4,928 件	
欠		311 件	261 件	

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
栄養指導件数	3,121 件	3,582件	

- 1 地域医療を支える要としての静岡病院
- (5)災害時医療

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価	
4	3		3		

中期目標

南海トラフ巨大地震等の発生が想定される中、静岡病院には災害時における重症患者の受け入れ等の中核的な医療の提供が求められる。

災害拠点病院として、日頃から、その発生に備え、人的・物的資源を整備し、訓練を行い、発生時には関係機関と連携しながら、また自らの判断で必要な対応を迅速に行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
一	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
a 地震防災対策マニュアル等につい	・災害を想定した総合防災訓練、全職員一斉メールによ	3	3	法人の実績見込に対
て病院機能の損失度に応じた見直しを	る伝達訓練の実施。			し、評価「3」が適当で
行うとともに、災害対応の訓練を日頃	• 医薬品や備蓄食料等の定期点検及び補充			ある。
から行い、発生時においては、関係機	・マニュアルの見直し改善など			
関と連携しながら、また自らの判断の	<ul><li>災害拠点病院に策定が義務付けられているBCP(事</li></ul>			
もと、必要な医療救護活動を迅速に実	業継続計画)の作成			
施します。	・熊本地震(H28 年4月)の際に当院DMAT(災害			
b 非常電源や水源の確保など災害時	派遣医療チーム)が約1週間被災地で活動。			
に必要となる施設・機器の更新や維持	• 政府主導大規模訓練へのDMATの参加			

管理を行うとともに、医薬品	さまに、医薬品や医療資 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に							
器材、食料の必要な備蓄等を	行います。	おいても討	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画					
		の達成に向	のけて計画どおり	に実施している	らものと考え			
c 市外における大規模災害	<b></b> 手発生時の	られる。						
援助要請に応えられるよう、	引き続き							
災害医療派遣チーム(DMA	AT)を編							
成します。								
d 大規模災害発生時等に災	災害現場等							
から重症患者を受け入れるな	こめ、ヘリ							
ポートの設置可能性を検討し	<b></b> ノます。							
【関連指標】		•						
項目		H28 実績	H29 実績	H30 実績				
防災訓練		40	20					
研修など		40	4 🗆					
	•				_			
項目		H28 実績	H29 実績	H30 実績				
DMAT訓練回数		30	4 🗆					
	<u> </u>				<del>-</del>			

# 2 医療の質の向上と人材の確保

# (1)総合的な診療とチーム医療の実施

年度評価			中期目標	期間評価
H28 H29 H30			見込評価	期間実績評価
3	3		3	

<b>七</b>	医療の高度化、複雑化に対応し、より患者に寄り添った治療を行うため、診療科や職種を超えた連
中期目標	携により、総合的な診療とチーム医療を提供すること。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
患者一人ひとりに最適な専門医療を	• 複数の診療科の共同診療による質の高い医療の提供	3	3	法人の実績見込に対
提供するため、診療科や職種の枠を超	ハートセンター(心臓血管外科、循環器内科)			し、評価「3」が適当で
えた連携により、総合的な診療とチー	消化器総合センター(消化器内科、消化器外科)			ある。
ム医療を推進するとともに、そのため	•多職種で構成される専門性を生かしたチーム医療の実			
の医療スタッフの養成に取り組みま	践(呼吸サポートチーム、褥瘡対策チームなど)			
<b>ਰ</b> 。				
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
心臓リハビリ件数	731 件	807件	
栄養サポートチーム	89 件	62 件	
回診件数	89 14	0∠ 1 <del>1</del>	
緩和ケアチーム	59人	88 人	
対応患者数	59 🔨	88 🔨	

- 2 医療の質の向上と人材の確保
- (2) 先進医療機器や設備の整備

	年度評価	中期目標期間評価			
H28	H28 H29 H30		見込評価期間実績評価		
3	3		3		

C #10 1#5	医療の高度化への対応や、医療水準を維持するために、先進医療機器や設備等を的確に整備・更新
中期目標	すること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価		
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等		
a 新たな医療機器の開発状況、他の	・先進医療機器としてPET/CTを導入(H29年4	3	3	法人の実績見込に対		
医療機関における状況などを踏まえ	月)			し、評価「3」が適当で		
て、PET-CTなどの先進医療機器を	<ul><li>医療機器の整備更新(乳房X線撮影装置、人工心肺装</li></ul>			ある。		
整備します。	置、外科手術用顕微鏡システム、内視鏡ビデオシステム					
b 医療機器・施設の稼働状況や耐用	など)					
年数、他の医療機関における状況など	• 施設整備(手術室ヘパフィルター交換など)					
を踏まえて、アンギオグラフィ(血管						
撮影装置)や付帯設備の更新など、医	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に					
療機器や施設を整備・更新します。	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画					
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え					
	られる。					

- 2 医療の質の向上と人材の確保
- (3) 医療職の確保、知識の習得、技術の向上

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H28 H29 H30		見込評価期間実績評価		
4	3		3		

医師、看護師等の医療職を確保するとともに、医療の高度化、複雑化に対応するため、その専門中期目標 性や技術の向上を図ること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期 出	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 地方独立行政法人の特徴を生かし、	・新専門医制度への対応として、専門研修プログラム	3	3	法人の実績見込に対
従来の定数管理や雇用形態・勤務形態に	(内科・外科)の作成、院内・院外の初期研修医への			し、評価「3」が適当で
とらわれず、多様な雇用形態等を取り入	説明会の実施、さらに、リクルートイベントなどに当			ある。
れ、必要な時に必要な医療職を確保しま	院の医師が直接出向き丁寧な説明を実施。			
<b>す</b> 。	• 採用試験を随時実施することにより現場の診療体制			
b 医師、看護師、薬剤師、医療技術者	に配慮した適切なタイミングでの人員を確保。			
等について、院内研修の充実や研究・研	・看護師を安定的に確保することにより、7対1看護			
修会への参加を促進するとともに、専門	配置体制を計画より前倒しで実現(H29 年4月			
資格取得のため、院外の教育研修等への	→H28年8月)			
参加を支援します。	・ワークライフバランスの実現に向け、「正規短時間			
c 静岡市立看護専門学校等との連携を	勤務制度」を実施			
図り、優れた看護師の養成を支援しま	• 看護学生(静岡看護専門学校、常葉大学など)を受			

0	け入れ、糸	経験豊富な	指導	者による効果	果的な	看護実習を		
	実施。							
	・法人と	して資格取得	导に』	必要な支援を	を行い	1、認定看護		
	師を養成。	)						
	以上の	取り組み及	び成り	果などによ	り、耳	成30年度		
	において	も計画を着!	実に	実施する見る	込みて	であり、中期		
	計画の達	成に向けて	計画	でおりに実	尾施し	ているもの		
	と考えられ	れる。						
【成果指標】								
項目	H28 実績	H29 実	債	H30 目	標	H30 実績		
7対1看護配置に向けた								
看護師の増員数	65 人	53	3人	90	入C	人		
(H25 年度比)								
【関連指標】							_	
項目	H28年4月1	∃ H2	9年	4月1日	H3(	O年4月1日		
医師数	150	D 人		158人		154人		
看護師数	496	6人		484 人		523人		
項目	H28 実績	H29 実	債	H30 実	績			
専門医資格取得数	151 件	177	7件		件			
指導医資格取得数	65 件	72	2件		件			
認定看護師数(人)	9人	2	2人		人			
看護実習受入人数	213人	295	5人		人			

# 2 医療の質の向上と人材の確保

# (4) 臨床研修医の育成

	年度評価	中期目標期間評価		
H28 H29 H30		H30	見込評価	期間実績評価
4	4		4	

中期目標	臨床研修病院として、ニーズに合致した魅力的なプログラムの構築等により教育研修機能の充実を
	図り、臨床研修医の育成に積極的に取り組むこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価	
中期 中期 市 田	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等	
研修医の要望や社会的な要請に合致	• 模擬実習が可能なシミュレーションラボの活用	4	4	臨床研修医の育成等に	
した研修プログラムの充実、研修プロ	・研修支援プログラムの充実			関し、病院内の臨床研修	
グラム及び指導医・研修医に対する評	・成果指標である「臨床研修医募集定員充足率」は2年			運営委員会等で取組内容	
価による研修内容のさらなる向上によ	連続 100%を達成			を検討し、研修支援プロ	
り、臨床研修医の受け入れ推進と定着	・募集定員を大幅に超える人数の申込み実績。(募集定			グラムの充実や模擬実習	
を図ります。	員 13名に対し、申込者数 H28 実績 40名、H29 実			が行えるシミュレーショ	
	績30名)			ンラボの活用による研修	
				医育成に係る取組を実施	
	以上の取り組み及び成果や、平成30年度実施予定の			した。また、リクルート	
	事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って			イベントにも積極的に参	
	実施しているものと考えられる。			加し、病院が一体となっ	
				て各種取組を行った結	

						果、昨今の臨床研修医
						保が困難な状況にお
						て、2年連続で募集定
						に対しフルマッチング
						きたことは大きな成果
						ある。H30 においても
						引き続き各取組の実施
						予定され、中期計画期
						全体において計画以上
						達成が見込まれること
						ら、評価「4」が適当
						ある。
【成果指標】						
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績		
臨床研修医募集定員	1000/	1000/	1000/			
充足率	100%	100%	100%			
【関連指標】					_	
77.0	H28 実績	H29 実績	H30 実績			
項目					<b>I</b>	

- 2 医療の質の向上と人材の確保
- (5)調査・研究、治験の実施

	年度評価	中期目標期間評価			
H28	H28 H29 H30		見込評価期間実績評価		
3	3		3		

中期目標 より質の高い医療を提供するための調査・研究、治験に積極的に取り組むこと。

中期計画		実績別	及び法人自己評価	Б			静岡市評価		
中期间		取組、成果、課題、評価理由等 評価				評価	評価理由・特記事項等		
新しい治療法の開発等に貢献する問	• 臨床研	究及び治験の推進	進に向けて各委員	員会での審議	3	3	法人の実績見込に対		
床研究や治験に積極的に取り組みます。	等を実施	。H29 治験審	查委員会( 9 E	]開催、件数			し、評価「3」が適当で		
なお、実施にあたっては、参加者のE	177件)	。H29 医療倫理	審查委員会(本	審查5回、			ある。		
発的意思や人権に対して最大限配慮に	1 迅速審査	迅速審查 12 回、件数 47 件)							
たします。	以上の	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度							
	において	も計画を着実に	実施する見込みで	であり、中期					
	計画の達成に向けて計画どおりに実施しているもの								
	と考えら	れる。							
【関連指標】				_					
項目	128 実績	8 実績 H29 実績 H30 実績							
治験実施件数	6件	5件							
治験実施率	79%	83%							

- 3 医療の安全性と信頼性の向上
- (1) 十分な情報提供と適切な取扱い

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価期間実績		
3	3		3		

中期目標

患者との信頼関係の構築に努め、患者への十分な情報提供・説明と同意のもとに医療を提供すること。

診療情報を適切に管理するとともに、患者情報の保護及び病院に係る情報の公開に関しては、静岡 市個人情報保護条例及び静岡市情報公開条例に基づき適切に対処すること。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
中期间 	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 常に患者やその家族の立場に立	・患者さんへの丁寧な説明やインフォームドコンセント	3	3	法人の実績見込に対
ち、誠意を持った応対を心がけるとと	の徹底、セカンドオピニオン外来による他院への紹介な			し、評価「3」が適当で
もに、医療の提供に当たっては、イン	どを実施			ある。
フォームドコンセント(患者へ診療の	・病気や治療について患者の理解を促進するため、薬の			
目的や内容を十分に説明し、その同意	使い方やインフルエンザなどの身近なテーマについて			
を得ること)を徹底します。また、患	講演を行う「出前講座」の実施や、静岡市民「からだ」			
者やその家族が、治療法等の判断に当	の学校(都市部2回、地域版3回)を開催			
たり主治医とは別の医師の意見を求め	・患者の会(心臓病友の会、糖尿病友の会、消化器病友			

を聴くこと)を受けられる体制の整備 き適切に運用 を行います。

- b 定期的な市民公開講座や、「患者の 外部の専門研修を受講 会」への医師等による講演、医療相談 関係の醸成を図ります。
- c 患者情報に係る保護及び病院に係 る情報の公開については、市の関連条 例の実施機関として、適切に取り扱い ます。

たとき、適切にセカンドオピニオン(患しの会)が主催する講演会などに当院の医師が出席するな。 者及びその家族が、病状や治療法等にしど、医師と患者との信頼関係の構築に努めた。

- ついて、主治医とは別の専門医に意見↓・患者の個人情報について、市の条例やマニュアルに基
  - 個人情報保護委員会にてマニュアル改善などを実施
  - •個人情報保護制度などの理解を深めるため担当職員が

等を実施し、疾病に係る患者理解を促し、以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に 進するとともに、病院と患者との信頼|おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画 の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え られる。

	項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
セ	カンドオピニオン件数			
	受入	29 件	28 件	
	紹介	42 件	65 件	
診	療録開示件数	58 件	48件	

- 3 医療の安全性と信頼性の向上
- (2) 医療安全管理等の徹底

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

中期目標

市民に信頼される安心・安全な医療を提供するため、医療安全に係る情報の収集・分析を踏まえた 医療安全管理を行うとともに、院内感染防止対策を実施すること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
医療安全管理室が中心となって、医	・職員に医療安全の重要性等を周知するため、定期的に	3	3	法人の実績見込に対
療安全に係る情報収集及び分析、改善	委員会及び研修会を実施			し、評価「3」が適当で
案の立案、院内教育研修などの医療安	• 入院患者等を対象に転倒予防体操の実技指導を実施			ある。
全管理を行うとともに、感染管理室が	・院内感染対策の重要性等を周知するため定期的に委員			
中心となって、感染症に係る情報収集	会及び研修会を実施			
及び分析、院内の調査・監視などの院	•感染管理システムの導入による情報の一元管理を実施			
内感染防止対策を実施します。				
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
医療安全管理委員会開催回数	12 🛭	12 🛭	
医療安全研修会等実施回数	15 🛭	15 🛭	
院内感染対策委員会開催回数	17 🛭	12 🛭	
院内感染対策研修会等実施回数	80	11 🗆	
院内ラウンド件数	週1回	週1回	

- 3 医療の安全性と信頼性の向上
- (3) 市民への積極的な広報

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

中期目標

病院の役割や機能、経営状況などについて、市民にわかりやすく情報提供すること。

	中期計画		実績及	なび法人自己評価	]			静岡市評価
	中期 il 画		取組、成果、調	<b> 課題、評価理由等</b>		評価	評価	評価理由•特記事項等
病院	の理念・基本方針、各診療科	4の ・病院ウェ	・病院ウェブサイトについて、スマートフォン対応、メ			3	3	法人の実績見込に対
特色な	治療実績、クリニカルインラ	ディ ンテナンス	ス向上、デザインi	面など、多様化し	<b>ノている近年</b>			し、評価「3」が適当で
ケータ	ー、財務諸表等の経営状況な	きど のウェブサ	ナイトに沿った形	に全面リニュー	アルを実施			ある。
につい	て、病院ウェブサイトや静岡	病 ・病院の診	診療データや経営	指標等の公表				
院広報	紙などを通じて、市民にわた	り 以上の取	双り組み及び成果	などにより、平原	は30年度に			
やすく	広報します。	おいても計	十画を着実に実施	する見込みであ	り、中期計画			
		の達成に同	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え					
		られる。						
【関	連指標】							
	項目	H28 実績 H29 実績 H30 実績						
	静岡病院広報紙	6 🛭	60 60					
	年報	1 🗆	1 0 1 0					
					•			

#### 4 利用しやすく快適な病院づくり

#### (1)患者第一の病院づくり

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

患者の立場を第一に考え、患者に寄り添った医療の実践に向け、医療サービスの提供や施設等の整 中期目標 備に当たっては、患者の視点に立って行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価	実績及び法人自己評価		静岡市評価
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
病院の基本方針として、患者にとっ	•各所属及び定例会議等での基本理念•基本方針の復唱、	3	3	法人の実績見込に対
て最善の全人的医療を実践する旨を掲	院内掲示、全職員の名札への表示など、患者の立場を意			し、評価「3」が適当で
げるとともに患者の権利を明示し、こ	識した医療の提供を心がけるよう周知徹底を図った。			ある。
れらに基づいて患者の立場を常に意識				
しながら医療サービスの提供や病院施	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
設等の整備を行います。	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

- 4 利用しやすく快適な病院づくり
- (2)患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供

年度評価			中期目標期間評価		
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	2		3		

中期目標

提供する医療や病院環境に係る患者ニーズを把握して、そのニーズに対応し、患者にとって利用 しやすく快適な病院づくりを進めること。

ch the law	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 患者満足度調査などによって患者ニ	・患者満足度調査を実施するとともに、調査項目の見	3	3	法人の実績見込に対
ーズを把握し、そのニーズを満たすため	直しを行うなど患者ニーズの適正な把握に努めた。			し、評価「3」が適当で
に必要な改善を行います。	・外来処方箋の運用方法を見直し、会計待ち時間の短			ある。
b 患者にとって利用しやすい病院環境	縮を図った。			
を確保するため、待ち時間調査を実施	・デザインの専門学生の協力による外来スペースへの			
し、待ち時間を短縮できる方策を検討す	フラワーアレンジメントの提供。			
るとともに、待ち時間をなるべく有意	・行政機関や業者との連携により、メンテナンスフリ			
義に過ごしてもらえるよう、診察待ちの	ー切り花を設置(院内33箇所)し、安らぎの空間を			
患者さんに対し体操指導を行うなど、改	提供。			
善に向けた取り組みを実施します。	・病院全体の接遇能力の向上を図るため、全職員(パ			
c 胆石摘出など短期間の入院が見込ま	ート、委託含む)に対し、外部講師による接遇研修を			
れる患者が、入院治療をもっと身近に利	実施。			

用でき	きるよう、患者が利用しやすい	診療 以上の	取り組み及び成績	果などにより、平	成30年度				
体制や	や運用方法等を管理する専門	部署 において	においても計画を着実に実施する見込みであり、中期						
の設置	置について検討を進めます。	計画の達	計画の達成に向けて計画どおりに実施しているもの						
d 患	者にとって快適な病院環境を	確保と考えら	と考えられる。						
するだ	こめ、花や緑による緑化など、	安ら							
ぎの雪	空間を院内に整備します。								
е 市	民から信頼される病院であり	続け							
るため	り、職員一人ひとりが患者の立	場に							
立った	ご接遇の実践ができるよう病	院の							
全職員	員を対象とした接遇研修を毎	年実							
施しる	ます。								 
[ [	<b>以果指標</b> 】					_			
	項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績				
	患者満足度調査結果(概ね	90.6%	88.7%	90.0%以上					
	満足と回答した割合)	00.070	55.1 /6	の維持					
【阝	【関連指標】								
	項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績					
	医療相談件数	6,740件	5,090 件						
	患者意見件数	179件	203 件						

- 5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流
- (1) 市立病院としての市との連携

	年度評価	中期目標期間評価		
H28 H29 H30			見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供するという公的使命を果たして行くた
	め、市と連携して事業を進めること。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価		
中期 中期 市 田 中期 市 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	取組、成果、課題、評価理由等		評価	評価理由・特記事項等	
市と連携しながら、市目標に基づく	・市が指示した法人が達成すべき目標に基づき、中期計	3	3	法人の実績見込に対	
計画の策定、計画の実行、市評価委員	画を策定し業務を遂行した。			し、評価「3」が適当で	
会による評価、評価に基づく改善など	・平成 28 年度の業務実績について、評価委員会へ出席			ある。	
のPDCAサイクルによる経営管理を	し説明等を行うとともに、市からの評価結果報告を受				
実践してまいります。	け、評価の内容を法人の理事会及び院内会議等で周知し				
	た。				
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に				
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画				
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え				
	られる。				

- 5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流
- (2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携

	年度評価	中期目標期間評価			
H28 H29 H30			見込評価期間実績評価		
4	4		4		

中期目標

患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割を踏まえながら、本市医療機関の連携・ネットワークの一員として、清水病院、他の医療機関、医師会と連携し、病病連携及び病診連携を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け保健・福祉・介護関係機関と連携すること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価	
一	取組、成果、課題、評価理由等		評価	評価理由・特記事項等	
a 高度急性期病院及び地域医療支援	・病診連携を推進するため、オープンシステム(開放型	4	4	医療機関との連携に関	
病院としての静岡病院の役割を踏ま	病院)、病診がんカンファレンス(年 12 回開催)など			して、H28、H29 とも	
え、救急の対応や、「イーツーネット(疾	地域の医療機関と顔の見える連携に取り組んだ。			に、疾患別病診連携シス	
病別病診連携システム)」の活用による・市医師会との間で疾患別病診連携システム「イーツー				テムである「イーツーネ	
診療所からの紹介患者の受け入れ、逆	療所からの紹介患者の受け入れ、逆 ネット」などを推進。			ット」の整備等を通じて、	
紹介などについて、他の医療機関や医	・他の公的病院及び行政機関と連携を図るための合同会			地域の診療所等との関係	
師会と連携しながら取り組みます。	議等へ出席(病院長定例会、事務部局長連絡会、看護部			構築を図るとともに、オ	
b 他病院と互いに協力・補完しあい、	長連絡会、静岡地域医療構想調整会議、静岡県病院協会			ープンシステムや病診が	
疾患ごとの連携の強化や、患者のその	など)。			んカンファレンス等の取	

時々の病態にあった入院治療の効率的 な提供など、病病連携の推進に努める とともに、静岡市公的病院協議会にお ける情報交換等により、他の市内公的 病院との連携に取り組んでまいりま す。

c 地域包括ケアシステムの中で急性 期医療を担い、退院後患者が住み慣れ た地域で生活していくために、診療所、 訪問看護ステーション、ケアマネージャー、在宅介護サービス事業者など多 職種の関係者と連携を図ります。

時々の病態にあった入院治療の効率的 ・成果指標の「紹介率」、「逆紹介率」は、平成 28 年度 な提供など、病病連携の推進に努める 及び平成 29 年度の目標値をそれぞれ上回った。

ける情報交換等により、他の市内公的 以上の取り組み及び成果や、平成30年度実施予定の 病院との連携に取り組んでまいりま 事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って す。 実施しているものと考えられる。 組を行い、病診連携を推進した。また、他の公的病院や行政等とも、各種会議において、情報交換・交流に努め、積極的に連携を図っている。

結果、H28、H29では、目標を上回る紹介率、逆紹介率となり、H30も各種取組を実施することで、中期計画期間全体において計画以上の達成が見込まれることから、評価「4」が適当である。

#### 【成果指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
紹介率	74.4%	76.5%	60%以上	
逆紹介率	107.1%	103.5%	80%以上	

- 5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流
- (3) 国内外医療関係機関との交流

	年度評価	中期目標期間評価			
H28 H29 H30			見込評価期間実績評価		
3	3		3		

中担日抽	医療の高度化、複雑化、ボーダーレス化に的確に対応するため、国内外の医療関係機関と交流し、
中期目標	情報交換等を行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価		
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等		評価	評価理由•特記事項等	
学会等を通じて他の医療機関との連	・市外及び県外の医療機関と連携を図るための会議等へ	3	3	法人の実績見込に対	
携を深め、また、国際協力機構(JI	出席(全国自治体病院学会、全国地方独立行政法人病院			し、評価「3」が適当で	
CA)等を通じて視察団を受け入れる	協議会、大都市感染症指定機関会議、地方独立行政法人			ある。	
など、海外医療機関とも積極的に交流	(近畿地区) 実務者情報交換会など)				
します。					
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に				
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画				
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え				
	られる。				

- 1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり
- (1) 働きやすい職場環境の整備

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	4		3		

職員のワーク・ライフ・バランスの推進、メンタルヘルスを含めた健康管理の実施、職場の安全衛 中期目標 生の確保などの職場環境の改善に努め、「働きやすい病院」にすること。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
一	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
職員のワーク・ライフ・バランスに	・多様な働き方の実現に向けて「短時間勤務制度」を実	3	3	法人の実績見込に対
配慮した多様な雇用形態・勤務形態の	施。			し、評価「3」が適当で
導入や、職員ニーズを踏まえた職場環	・医師の長時間労働の改善を目的とする「変形労働時間			ある。
境づくりを行い、院内保育所の運営、	制」の検討及び試行。			
健康管理、労働安全衛生を確保するな	・全職員対象にストレスチェックを実施。			
ど「働きやすい病院」にしていきます。	・職場環境を改善するため、ハラスメント防止研修、暴			
	力暴言等対策研修を実施。			
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			

	られる。						
					•		
関連指標】							
関連指標】 項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	7			

- 1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり
- (2) 職員のやりがいと満足度の向上

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績		
3	3		3		

中期目標

職員の成長やチャレンジを尊重するため、職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進するとともに、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度の設定、職員相互で認め合うコミュニケーションの活性化等により、職員の意欲を引き出し、満足度を向上させること。

다 #REFTE	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
a 職員自身の能力開発や技術向上の	・異なる職種同士のコミュニケーション向上を目的に、	3	3	法人の実績見込に対
取組を促進させるため、院内研修の充	多職種連携推進会議、多職種合同研修を実施。			し、評価「3」が適当で
実や、職員の研修会等への参加支援を	•看護研究発表大会及びクオリティマネジメント報告会			ある。
行います。また、職員の職責、勤務成	などの事例発表会の開催			
績等を適正に評価する人事給与制度の	・資格取得に必要な費用を法人が負担し、認定看護師を			
構築、院内外の多職種が参加する研究	追加。			
発表会等による職員相互のコミュニケ	・職員満足度調査の実施。			
ーションの活性化などを図るととも	・人事評価制度について本格稼動に向けて取り組みを開			
に、定期的に職員意識調査を行い、職	始(事務職に試行)			
員の意欲を引き出し、満足度を向上さ				
せます。	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			

b 職員の経営参画意識を高め、より
よい病院づくりに向けた取り組みを推
進するため、病院の運営方針や課題に
ついての職員間での情報共有や課題改
善を検討するための会議を開催すると
ともに、課題改善の奨励に取り組みま
す。

おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画 の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え られる。

# 【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
看護研究発表事例件数	15件	16件	
全国自治体病院協議会	5件	16 lb	
事例発表件数	514	16件	

# 2 業務運営体制の構築

# (1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績調		
3	3		3		

中期目標

医療環境の変化に的確に対応して目標を着実に達成するため、法人が主体性をもって迅速に意思決定、行動ができるよう、理事長及び理事会を中心とした効率的で効果的な組織体制を構築すること。

ch #Relian	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
理事長のリーダーシップと、理事	・多職種が連携する経営改善プロジェクトの実施	3	3	法人の実績見込に対
会を組織することにより、迅速で明快	・経営改善プロジェクトの取り組みにより、新たな施設			し、評価「3」が適当で
なプロセスによる意思決定を行いま	基準(薬剤業務実施加算など)を取得。			ある。
す。	・効率的な病院経営を実現する部署(経営課)を新たに			
また、組織体制の構築に当たっては、	設置し、7対1看護配置体制を早期に実現。			
必要十分でかつ無駄のない組織体制と	・組織体制を弾力的に改組(総合相談センター、がん相			
するとともに、戦略的な病院経営を企	談支援センターなど)			
画・立案する機能を強化するための新				
たな部署を設置するなど、効率的で効	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
果的な組織体制とします。	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
そして、組織体制は、医療環境の変	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
化に応じて、弾力的に改組します。	られる。			

- 2 業務運営体制の構築
- (2) 市民との連携・協働による病院運営の実施

-	年度評価			中期目標	期間評価
	H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
	3	3		3	

中期目標

市民の安心・安全を支える地域医療を存続させるためには、医療機関と市民との連携・協働が必要であり、静岡病院の運営においても市民との連携・協働を推進すること。

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
一	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
地元自治会等と共同開催による市民	• ボランティアとの協働による病院運営を実施(患者さ	3	3	法人の実績見込に対
公開講座の実施や、院内の患者誘導、	んの誘導、移送(車椅子)、外来案内、精算機の説明、			し、評価「3」が適当で
移送等に係る市民ボランティアとの協	巡回図書、衛生材料づくりなど)			ある。
働を進めるとともに、院内コンサート	・デザイン専門学生の協力によるフラワーアレンジメン			
の実施等について、市民の協力を得た	トの設置。			
病院運営を行います。	•近隣の学校の吹奏楽部によるクリスマスコンサートを			
	実施			
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

# 【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
地元自治会等との共催事 業	30	30	
ボランティア活動延べ人 数	517人	515人	
院内コンサート	1 🗆	1 🗆	

# 2 業務運営体制の構築

# (3) 外部評価等の活用

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

中期目標

病院の運営管理や提供している医療等の情報について外部に公表するとともに、第三者の客観的な立場からの評価を受け、病院の運営体制の充実や医療の質の向上を図ること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
一	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
病院の運営管理や提供している医	•日本医療機能評価機構からの認定更新を控え、受審に	3	3	法人の実績見込に対
療、臨床研修プログラムについては、	向けて医療の質改善に向けた活動等を開始。			し、評価「3」が適当で
「病院機能評価」や「臨床研修評価」	・監事監査計画に基づく定期監査及び決算監査を実施。			ある。
を受審し、適正な病院経営・会計執行	•提案箱に寄せられた市民の意見等について院内会議等			
等については、監事による監査等を実	で検討。			
施するなど、客観的な立場からの評価	•外部の医療コンサルによるセミナー等を職員向けに開			
等を受けます。	催。			
また、医療の質の向上に係る院外で	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
の研修受講の推進や品質管理等の民間	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
のスキルやノウハウを活かす方策の検	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
討などにより、病院体制の充実や適切	られる。			
な病院経営に努めます。				

# 2 業務運営体制の構築

# (4) 事務部門の強化

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持中期目標 った人材の確保・育成を計画的に行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価 静岡市語		静岡市評価	
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
業務執行能力の高い組織を確立する	•他の医療機関等での勤務実績がある専門性の高い事務	ω	3	法人の実績見込に対
とともに、医療経営や医療事務に係る	職員を法人職員として採用。			し、評価「3」が適当で
専門的知識や使命感を持った人材の採	•成果指標である派遣職員から法人職員への切り替え率			ある。
用や育成を計画的に実施します。	について計画どおり目標値を達成。			
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

# 【成果指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
派遣職員から法人職員へ	22.59/	EO 09/	75.09/	
の切り替え率(事務職)	22.5%	50.0%	75.0%	

# 2 業務運営体制の構築

# (5) 法令の遵守等

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
3	3		3		

th#101##	市立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法等の関係法令を遵守し、高い倫理観のもと、
中期目標	適正な病院運営を行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期i1回 	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療法や、健康保険法に基づく療養	・定款や職員給与などの各規程及び要綱について、院内	3	3	法人の実績見込に対
担当規則等の関係法令の遵守及び倫理	ネットワークに掲示するなど職員に周知した。			し、評価「3」が適当で
意識の向上に関する研修等を職員に実	・法改正などに伴う各規程の制定・改定について理事会			ある。
施して、適正な病院運営を図ります。	審議に諮った。			
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。			

# 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

# 1 健全経営の維持

# (1) 安定的な経営の維持

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
4	2		3		

中期目標

静岡病院が地域医療の核として、市民が必要とする高度で良質な医療サービスを継続して提供していくために、中期目標期間を通じて、経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持すること。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期 中期 市 田 中期 市 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療環境の変化に的確に対応しなが	・法人移行初年度(平成28年度)の収支は黒字(約4	3	3	法人の実績見込に対
ら、収入の確保及び費用の節減を図り、	億5千万円)を達成。			し、評価「3」が適当で
市からの運営費負担金等の繰入後の経	・平成29年度は費用増などの理由から収支は赤字(約			ある。
常収支を均衡させ、安定的な経営を維	2億円)。			
持します。	・平成 30 年度診療報酬改定に対応した経営改善プロジ			
	ェクトによる収入確保策の実践(新たな施設基準の取			
	得、算定率向上など)。			
	・民間アドバイザーによる費用節減策(材料費の縮減な			
	ど)を平成30年度も引き続き実践。			
	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいては計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			

	1	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え られる。			]		
成果指標】						1	
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績			
総収支比率	102.2%	99.0%	100%以上				
経常収支比率	101.4%	99.0%	100%以上				
医業収支比率	97.4%	95.7%	96.0%以上				

# 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

- 1 健全経営の維持
- (2) 収入の確保、費用の節減

年度評価			中期目標	期間評価	
H28	H29	H30	見込評価期間実績評価		
4	3		3		

	経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減について、全ての職員がこのことを意識して日頃から取
中期目標	り組むとともに、診療報酬改定への的確な対応や地方独立行政法人のメリットを生かした多様な契約手法の導
	入による調達コストの削減など、様々な機会を通じて取り組むこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期計画	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由•特記事項等
a 収入の確保のため、以下	収入確保策の実践	3	3	法人の実績見込に対
の項目を実施します。	• 他病院の成功事例など職員向けのセミナーの開催			し、評価「3」が適当で
ア 収入の確保に向けた全	・診療報酬上の加算となる施設基準の取得(「H28 実績 7 対 1 看			ある。
職員対象の研修会等を実施	護配置、病棟薬剤業務実施加算など」「H29 実績 総合入院体制加			
イ 診療報酬改定への的確	算2、透析液水質確保加算2など」)			
な対応				
ウ 人口減少社会における	費用節減策の実践			
患者の安定的な確保	・後発医薬品の切り替えについて目標値(後発医薬品指数)を大			
エ 査定状況等の傾向分析	幅にクリア			
に基づく診療報酬の請求漏	• 薬品費を抑制するため、民間アドバイザー同席による薬価交渉			
れや査定減防止策の関係者	の強化により値引率の改善を図った。			

への周知
オ 未収金の圧縮(電話催
告、外来面談等)
b 費用の節減のため、以下
の項目を実施します。
ア 後発医薬品の積極的な
採用
イ 診療材料や医薬品につ
いて、市場調査に基づく価
格交渉の実施や在庫管理の
徹底
ウ 契約手法の多様化(長
期契約、包括的一括契約等)
エ 費用節減について会議
等による全職員への周知・
浸透

・診療材料費についても薬品同様に民間アドバイザー同席による値引き交渉を実践。

### 【成果指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
病床利用率	90.9%	89.3%	95.0%以上	
収納率(現年度分)	98.1%	98.6%	98.0%以上	

項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
後発医薬品指数	83.9%	85.6%	70.0%	

# 【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
入院患者数	165,836 人	162,928人	
外来患者数	282,213 人	277,006人	
手術件数	5,422 件	5,055件	
平均在院日数	12.1 ⊟	12.2 ⊟	

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
給与費比率	47.5%	48.1%	
材料費比率	31.0%	31.3%	
経費比率	16.7%	17.3%	

# 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

# 1 健全経営の維持

# (3) 計画的な投資の実施

年度評価			中期目標	期間評価
H28 H29 H30			見込評価	期間実績評価
3	3		3	

医療機器や設備の整備・更新などの投資を行う際には、その投資効果を把握し、投資後の収支の見中期目標 通しを立て、アセットマネジメント(資産管理)の観点も踏まえて計画的に行うこと。

du-la		実績及び法人自己評価			静岡市評価		
中期計画		取組、成果、課題、評価理由等 評価			評価	評価	評価理由•特記事項等
医療機器の稼働状況や耐用年数、新	• 各診療科	の整備計画に基	づき、必要性、終	圣済性などを	3	3	法人の実績見込に対
たな医療機器の開発状況、他の医療機	と 精査し医療	機器を購入					し、評価「3」が適当で
関における機器の整備状況などを踏っ	・西館を中	心に必要な修繕	を実施				ある。
え、投資効果や投資後の収支見通しな							
アセットマネジメント(資産管理)等	景 以上の取	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に					
を勘案し、主要医療機器の整備計画や	、おいても計	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画					
施設の整備・修繕計画を策定して投資	♂ の達成に向	のけて計画どおり	に実施している	るものと考え			
します。	られる。						
				_			
項目	H28 実績	128 実績 H29 実績 H30 実績					
減価償却費比率	7.2%	7.7%					
				•			

# 第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置

### 1 地球環境に配慮した病院運営

年度評価			中期目標	期間評価
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標

病院は、24時間稼働し、また、電力を消費する医療機器やディスポーザブル(使い捨て)材料を使用する等の特徴があるため、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量、温室効果ガスの排出抑制など、地球温暖化対策の推進と資源の有効活用に取り組み、地球環境に配慮した病院運営を行うこと。

中期計画	実績及び法人自己評価			静岡市評価
中期 中期 市 田	取組、成果、課題、評価理由等 評価		評価	評価理由・特記事項等
環境負荷の少ない機器の購入、廃棄	・環境負荷の少ないLED照明に順次取替えを実施。	3	3	法人の実績見込に対
物の分別徹底、リサイクル推進による	• 可能な範囲での照明の消灯及び間引きを実施。			し、評価「3」が適当で
廃棄物の減量、ディスポーザブル材料	・リサイクル推進に向けて、分別方法について業者との			ある。
の見直し、地下水利用による水道使用	協議及び院内調整等に取り組み、分別対象範囲を拡大す			
量の削減、高効率機器の導入、機器の	るなど、環境及びコスト削減を意識した病院経営を実			
効率的な運転管理の実施等により、地	践。			
球環境に配慮した病院運営を行いま				
<b>ਰ</b> .	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に			
	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画			
	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え			
	られる。			

# 【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
電気使用量	10,701,456KWH	10,591,290KWH	
ガス使用量	1,315,030 m³	1,342,235 m³	
水道使用量	97,333 m³	99,374 m³	

# 《 資 料 》

地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務の実績等に関する評価に係る基本方針

地方独立行政法人法(平成 15 年法律第 118 号。以下「法」という。)第 28 条第 1 項各号の規定に基づく地方独立行政法人静岡市立静岡病院(以下「法人」という。)の業務の実績等に関する評価(以下「評価」という。)は、以下の基本方針に基づき実施する。

### 1 評価方針

(1) 法第28条第1項各号の規定に基づく各事業年度における業務の実績に関する評価 (以下「年度評価」という。)

当該事業年度における中期計画の実施状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該事業年度における業務の実績の全体について総合的に評価する。

- (2) 法第28条第1項第2号の規定に基づく中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する評価(以下「中期目標期間見込評価」という。) 当該中期目標の期間における中期目標の達成状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該中期目標の期間の終了時に見込まれる当該中期目標の期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。
- (3) 法第28条第1項第3号の規定に基づく中期目標に係る業務の実績に関する評価(以下「中期目標期間評価」という。)

当該中期目標の期間における中期目標の達成状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該中期目標の期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

- (4) 評価は次の観点から行うこととする。
  - ①中期計画の内容が実施され、中期目標が達成されること
  - ②法人の業務運営が適正かつ効率的に行われていること
  - ③法人の組織及び運営の状況が住民に明らかにされていること

### 2 評価方法

(1) 年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている項目別及び全体について、業務の実績を評価する。

なお、年度評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定める。

①項目別評価

法人が小項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、 これに基づき市長は、当該事業年度における中期計画の実施状況を確認及び分析 し、項目別(小項目及び大項目)に評価する。

②全体評価

市長は、項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体に

ついて総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めると きは、法第28条第6項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

#### (2) 中期目標期間見込評価

中期計画に記載されている項目別及び全体について、期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績を評価する。

なお、中期目標期間見込評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定める。

#### ①項目別評価

法人が小項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、 これに基づき市長は、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、中期目標 の期間の終了時に見込まれる中期目標の達成状況を確認及び分析し、小項目ごと に評価する。

### ②全体評価

市長は、小項目評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認める ときは、法第28条第6項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

### (3) 中期目標期間評価

中期計画に記載されている大項目及び全体について、業務の実績を評価する。なお、中期目標期間評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定め

#### ①大項目評価

る。

法人が、大項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、これに基づき市長は、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、中期目標の達成状況を確認及び分析し、大項目ごとに評価する。

### ②全体評価

市長は、大項目評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めると きは、法第28条第6項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

#### 3 評価の進め方

#### (1) 法人からの報告書の提出

法人は、法第28条第2項の規定に基づき、各事業年度の終了後3月以内に、静岡市地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務運営等に関する規則第8の規定に基づき各報告書を作成し、市長に提出するとともに、公表するものとする。

### (2) 評価の実施

市長は、提出された報告書に基づいて確認及び分析を実施し、総合的な評価を行う。 市長は、評価を行うときは、あらかじめ、地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価 委員会(以下、「評価委員会」という。)の意見を聴くこととする。

なお、市長は評価に当たり、法人から意見又は説明を聴くことができるものとする。

### (3) 法人への意見申立て機会の付与

市長は、評価結果の決定に当たり、評価結果案について法人から意見の申し立てがあった場合は、その機会を法人に付与することとする。

#### 4 評価結果の活用

評価委員会は、法第30条の規定に基づく市長の法人の業務の継続又は組織の存続の必要性その他その業務及び組織の全般にわたる検討や、法第25条及び法第26条の規定に基づく市長の次期中期目標の策定及び次期中期計画の認可に関して意見を述べるときは、それまでに市長が行った評価結果を踏まえて意見を述べるものとする。

地方独立行政法人法(平成15年法律第118号。以下「法」という。)第28条第1項第2号の規定に基づく地方独立行政法人静岡市立静岡病院(以下「法人」という。)の中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する評価(以下「中期目標期間見込評価」という。)は、「地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務の実績等に関する評価に係る基本方針」に基づき、以下の要領により実施する。

#### 1 項目別評価

中期計画における「第1」から「第4」までの事項について、法人が各項目の実績及び実績に係る自己評価等を記載した報告書(以下「業務実績報告書」という。)を作成して市長に提出し、市長はこれに基づき各項目の評価を行う。

### (1) 法人による自己評価

法人は当該中期目標期間中に市長が行った年度評価を踏まえ、中期計画に定めた小項目ごと自己評価を行う。

評価については、その評価理由を示すほか、必要に応じて特記事項等を付すこととする。また、最終年度に予定される事業等において、特に評価に影響を与えると認められる事項等がある場合は、当該事項を考慮して評価を行う。

#### [小項目評価基準]

- 「5」: 当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に大幅に上回っている。
- 「4」: 当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に上回っている。
- 「3」: 当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に計画どおりである。
- 「2」: 当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に下回っている。
- 「1」: 当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に大幅に下回っている、又は実施していない。

#### (2) 市長による小項目評価

市長は、法人の自己評価に基づき、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、 中期計画に定めた小項目ごとに、中期計画の実現に向けた進捗状況について評価を行 う。

評価については、その評価理由を示すほか、必要に応じて特記事項等を付すこととする。また、最終年度に予定される事業等において、特に評価に影響を与えると認められる事項等がある場合は、当該事項を考慮して評価を行う。

評価基準は法人と同様とする。

# 2 全体評価

市長は、項目別評価を踏まえ、中期計画の全体的な進捗状況について、総合的な評価を記述式により行う。

また、改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めるときは、法第28条第6項に基づき、法人に対し、必要な措置を講ずることを命ずることとする。

### 3 評価委員会からの意見聴取

市長は、前述の項目別評価、全体評価を行うときは、あらかじめ、地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会の意見を聴くこととする。